



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
National Institute of Special Needs Education

令和8年度 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会 第1回代表者研究協議会

国立特別支援教育総合研究所における 肢体不自由教育に関する研究

2026/5/14

吉川 知夫

班 長：杉林 寛仁（主任研究員）

副班長：織田 晃嘉（主任研究員）

：川口 辰之進（総括研究員・広島オフィス）

：藤本 圭司（主任研究員）

：吉川 知夫（上席総括研究員）

肢体不自由関連の研究について（R7まで）



① 障害種別特定研究（令和5～7年度）

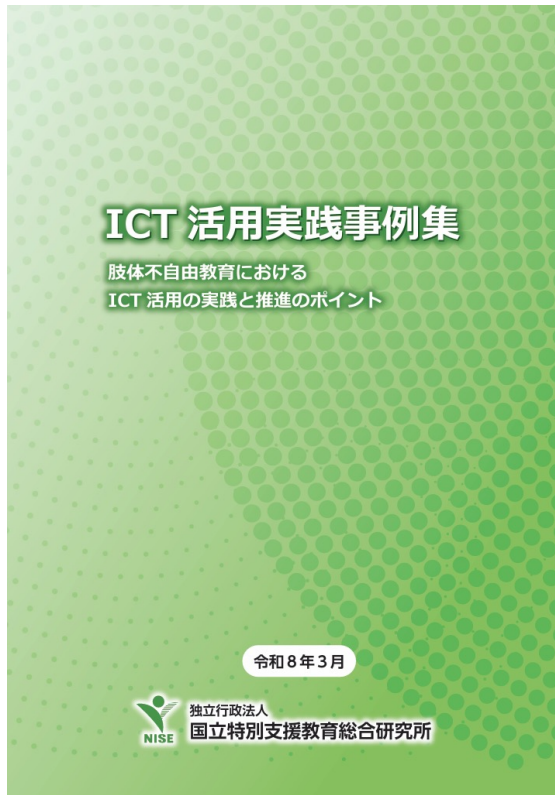
「肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究」

② 障害種別研究（令和3～7年度・肢体不自由教育班）

「教科指導及び自立活動の指導における肢体不自由児の障害特性を踏まえたICTを活用した指導方法や教材、教具の有用性の検証」

③ 科研費（令和7年度～11年度）

「電動移動支援機器の活用が肢体不自由児の発達に及ぼす影響の検討と評価法の開発」



研究班活動①

科学研究費助成事業 基盤研究（B）令和7年度～令和11年度
「電動移動支援機器の活用が肢体不自由児の発達に及ぼす影響の検討と評価法の開発」の研究

研究の背景

電動移動支援機器を用いた移動経験は、自立度を高め、社会性や情緒、認知発達の機会が促されることが報告されているが、学齢期の肢体不自由児における電動移動支援機器の導入と活用については、その教育的効果の検討には至っていない。

目的

本研究では、学齢期の肢体不自由児の電動移動支援機器の導入と活用による教育的効果を明らかにするとともに、その評価法の開発を行うことを目的とする。本研究の成果は、心身の調和的発達の基盤を培う自立活動の指導の充実に寄与するものである。

◆ 調査結果のまとめと発信

「電動移動支援機器の活用状況に関する調査（令和7年度実施）」の結果について、情報発信する。

- 日本特殊教育学会
ポスター発表
実施時期：9月



◆ 実践研究・インタビュー調査

研究協力機関において、電動移動支援機器を活用した実践を行う。

- 各校担当者との評価ツール（ALP）による児童評価の共有
- 研究協議（会）の実施
- 担当教員へのインタビュー調査
- Kids Loco Projectへの参加

【研究協力校】

北海道拓北養護学校
岩手県立盛岡となん支援学校
秋田県立秋田きらり支援学校
東京都立花畑学園
岐阜県立岐阜希望が丘特別支援学校
奈良県立奈良養護学校
奈良県立明日香養護学校
大阪府立西淀川支援学校
広島県立福山特別支援学校
香川県立高松支援学校
佐賀県立金立特別支援学校
熊本県立熊本かがやきの森支援学校

障害種別研究班（肢体不自由教育）

研究班活動②

次期学習指導要領を踏まえた指導及び体制整備に関する情報収集・発信（情報収集・発信）

研究の背景

肢体不自由教育の充実には、児童生徒の状態や発達段階に応じた授業改善が求められる。各教科で育成する資質・能力の明確化と、自立活動と教科の関連強化、ICTの効果的活用により深い学びを実現することが重要である。また、合理的配慮や医療的ケア体制の整備、関係機関との連携も進められている。さらに、既存の教育実践に加え、四肢欠損など希少障害に対応した指導ノウハウの蓄積が課題である。

◆ 予備的研究

学習の基盤となる認知の特性及び発達に焦点を当てた研究の基礎的研究として、文献レビューを中心に肢体不自由児の認知特性及び認知発達に関する情報整理を行う。



令和9年度の研究の基礎的資料とする

◆ 情報収集

肢体不自由教育現場の喫緊の課題に対し、参考となる授業実践やシステム構築に取り組む自治体や学校と連携・協働しながら情報収集を行い、肢体不自由教育の今日的課題の改善に寄与する基礎的な知見を得る。

自立活動の指導 ICTの活用 合理的配慮 等



横断的研究との連携

研究班活動③

令和5年度～7年度 障害種別特定研究「肢体不自由教育におけるICT活用」に関する研究成果の普及

研究の背景

令和5年度～令和7年度に取り組んだ障害種別特定研究「肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究」において、国内のICT活用に関する調査を行い、現状と課題を整理した。また、研究協力機関の協力のもと、19校の小・中学校、特別支援学校から実践事例の提供を受け、「ICT活用実践事例集」、「肢体不自由教育におけるICT活用ハンドブック」を作成した。

デジタル学習基盤を活用した特別支援教育の充実がより一層求められる中、これまで整理した研究成果について広く普及していく必要がある。

目的

障害種別特定研究「肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究」成果の普及フェーズとして、「ICT活用実践事例集」及び「肢体不自由教育におけるICT活用ハンドブック」の情報発信を行い、学校現場への効果的な還元を図る。

- ◆ 日本特殊教育学会自主シンポジウムの開催
- ◆ 全国特別支援学校肢体不自由教育校長会研究協議会等における情報提供
- ◆ 専門研修講義・研究協議会等への反映

□ 研究所HPに公開



「ICT活用実践事例集」
「肢体不自由教育における
ICT活用ハンドブック」





独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

National Institute of Special Needs Education